

日米ジョイントフォーラム

医療制度の変化と将来を考える
日米ジョイントフォーラム開催。

社会医療研究所所長・岡田玲一郎先生の企画する「日米ジョイントフォーラム」が、1月31日(土)、2月1日(日)の二日間にわたり、大阪と東京で開催されました。これは、毎年、米国で活躍する医療の専門家や医療関係の方々を招き、米国の最新の医療事情を紹介するとともに、今後の日本の医療を考えるというもの。今年は「日米双方の医療制度の変化と将来」というテーマで行われ、多くの方が来場しました。

第3回 南大阪リハビリテーション学会

より良いリハビリテーションを
南大阪で実現するために。

ペガサスでは、2月28日(土)、第3回南大阪リハビリテーション学会を開催しました。この学会は、南大阪におけるリハビリテーション提供職種のレベルアップを図り、地域市民の生活向上に寄与することを目的として創立されたもの。今回からは場所をJ-GREEN堺に移し、ペガサスはもちろん、他病院、NPO法人においてリハビリテーションに関わる多職種、233名が参加し行われました。



識者による講演は、まさに今、大きな変革のなかにある日本医療界において、今後を考える

上での示唆に富む話の連続。タイムリーな演題に、来場者も熱心に耳を傾け、非常に有意義な講演となりました。

ペガサスでは、今後も日米ジョイントフォーラムの支援を通じ、世界と地域を繋ぐことで、常に最新の医療情報を地域にもたらし、地域の医療従事者の知識の向上に貢献していきます。

招待講演には、日本作業療法士協会長の中村春基先生、日本理学療法士協会長の半田一登先生(講演順)をお招きし、



貴重なお話を伺いました。本学会では、参加者が「地域包括」「疾病」「高次脳機能」「ケアマネジメント」などのカテゴリごとに、それぞれの研究成果を発表。最後に優秀演題が選ばれ表彰されると会場は大きな拍手に包まれました。

ペガサスではこれからも、これらの活動を通じ、南大阪地域のリハビリテーションの発展に尽力していきます。

ペガサス医療体験デイ 就活バージョン



毎回好評の「ペガサス医療体験デイ 就活バージョン」。

看護師、リハビリテーションスタッフ、薬剤師、介護職員をめざす学生の方や既卒の方を対象に、院内体験見学や就職についての説明会を開催しています。

お気軽にご参加ください。

お問い合わせ／TEL:072-265-9089

ペガサス 看護師

検索

正職員採用

私たちと一緒に働きましょう。
介護職員募集中! ——— 随時受付しています。

ペガサスでは今、介護職員を募集中です。いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ／馬場記念病院 人事課 TEL:072-265-9089



社会医療法人ペガサス
公式 Facebook ページ

<https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus>

3月 ペガサスセミナー

気をつけてるけど、
これで合ってる？
コレステロールと塩分

講師：ペガサスリハビリテーション病院
管理栄養士 松原純子

日時：3月26日(木)午後2時～3時

場所：馬場記念病院 1階ロビー

3月 ペルセウス介護
支援セミナーしっかりケアして健康維持!
～口腔ケアについて～

講師：訪問看護ステーション中百舌鳥
所長 池尻君代
訪問看護ステーション忠岡
所長 森下清美

日時：3月18日(水)午後2時～

場所：介護療養型老人保健施設
ペルセウス 3階食堂

3月 ペガサスセミナー
和泉

転ばぬ先の骨の検査

講師：馬場記念病院 健診センター
診療放射線技師 浜尾雅信

日時：3月26日(木)午後2時～3時

場所：介護療養型老人保健施設
エクウス

4月 ペガサス
健康セミナー2015介護保険は
ここが変わりました

講師：ケアプランセンター神石
所長 森 早苗

日時：4月8日(水)午後1時30分～

場所：ペガサスロイヤルリゾート

PEGASUS
NEWS

ペガサスニュース

発行人／馬場武彦
発行／社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
<http://www.pegasasu.or.jp/>
編集／ペガサス広報委員会 編集グループ
編集協力／HIPコーポレーション
発行／平成27年3月17日

Vol. 66

ペガサスから地域の皆さまへ

「お家での暮らし」を提供します。
特別養護老人ホーム「アリオン」。

平成26年12月1日、ペガサスグループの社会福祉法人 風の馬は、全室個室のユニット型特別養護老人ホーム「アリオン」を開設しました。特別養護老人ホームとは、介護が必要な状況になって、自宅で生活を営むことが難しい方々が入居する福祉施設。アリオンは、堺市西区の浜寺エリアで唯一の特別養護老人ホームとして、入所80床、短期入所(ショートステイ) 20床の合計100床を備えます。

家庭的な雰囲気なか、自分らしく

新設されたアリオンは、明るく開放的な空間に加え、全室個室でご自宅のような雰囲気が特徴です。共同生活室(リビング)を取り囲むように個室10室を配置して1ユニット(生活単位)を形成。ユニットごとに専任の職員を置き、ご入居者が自身の個性や生活リズムに応じて暮らせるようサポートします。

さらに、24時間きめ細やかな介護サービスの提供を通し、ご入居者への個別ケアを充実させるほか、季節ごとの催しなども予定。ご入居者同士の楽しい交流にも力を入れています。

地域に安心を提供するために

ペガサスグループでは、一貫して救急／急性期、回復期、在宅支援と、継続ケアの視点から医療・介護を支える体制を構築してきました。そのなかで、自宅での生活が難しい方々を支援する居住系事業／施設の必要性を認識。ペガサスロイヤルリゾート(サービス付き高齢者向け住宅)を開設、そして特別養護老人ホーム設立に至りました。

アリオン内には、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、デイサービスを併設。それぞれの事業所間でタイムリーかつ確かな情報共有を図り、ご入居者が必要とするサービスをスムーズに提供していきます。

地域に開かれた施設へ

アリオンのめざすところは、単なる入居施設に留まらない高齢者の在宅支援拠点。アリオンを中心に、併設する事業所による在宅サービスの拡充や、地域にある在宅サービスの支援体制を構築し、地域の高齢者が安心して暮らせるようにしていきます。

そのためにアリオンでは、今後は地域交流室などの設備を積極的に活用。地域の皆さまとの交流を深めたり、各種研修会の実施、ボランティアの育成に努めるなど、地域における福祉の拠点をめざしています。

お問い合わせ／TEL:072-245-9640



エントランス



ホール



共同生活室



居室



地域交流室



デイサービス

シリーズ 30 ペガサス地域包括ケアセンター

地域の皆さまが、
住み慣れた生活の場で
暮らせるために。質の高い
医療・介護サービスを、
切れ目なく提供します。

私たちペガサスでは、住民の皆さまが安心して暮らすことができるよう、地域のヘルスケア全般を支える「ペガサス・トータル・ヘルスケアシステム」の構築をめざしています。このシステムは、「継続ケア」と「地域連携」を軸に、地域における医療・介護・福祉を結んで展開するもの。今、国が進めている地域包括ケアシステムの、いわばペガサス版といえます。

その実践拠点として、2014年11月、法人内に「ペガサス地域包括ケアセンター」（以下、センター）を設置しました。ここでは、病院での治療は終了したものの、退院後も在宅で継続した医学管理が必要な患者さま、あるいは、多様な介護支援が必要な患者さまを受け持ち、ペガサスグループはもちろん、地域の医療・介護・福祉関連施設や事業所を含め、質の高い医療と介護のサービスを組み立てていきます。

お一人お一人に合わせた
質の高い生活を、
お送りいただくために。

センターが何よりも大切に考えているのは、退院後の患者さまに、在宅での医療や介護の支援を受けながらも、いかに質の高い生活を送っていただくかという点です。例えば、ADL（日常生活動作）全介助が必要、胃ろう管理やストーマケア（人工肛門管理）が必要という方。あるいは、ご家族の事情でご自宅ではお世話ができない、障害を持ちながらも働きたいとお思いの方…。患者さまお一人お一人の状態やご希望、また、ご家族のお気持ちは、皆さまそれぞれです。そうした個々の状況を正確に把握したうえで、医学的な観点から患者さまを見つめ、ご本人の症状はどこまで改善するのか、それを最大限引き出すにはどのような支援が必要か、さらに、どこでどのような暮らし方が最適かなどを考えていきます。そのためには、入院中から退院後を見つめて、看護師やMSW（医療福



ペガサス地域包括ケアセンター
センター長 平岩敏志

祉相談員）、リハビリテーションスタッフ、ケアマネジャーなど、多職種としっかり情報共有し、そして、連携。患者さまにとって、＜今、このとき＞という退院のチャンスを逃すことなく、患者さまやご家族のご希望を叶えるよう支援を行っていきます。

ペガサスグループの
医療・介護資源を最大化し、
地域の皆さまを支えます。

センターは誕生からまだ間もないため、その目的を全法人内に周知徹底するには、職員自身が、ペガサスの描く＜トータル・ヘルスケアシステム＞への理解と、その根底にある＜患者さまのため、地域のため＞という考えを正しく理解する必要があります。また、超高齢社会といわれるこれからの時代において、高齢者への医療や介護、福祉、さらには生活支援の重要性を学ぶことも大切です。

そのためセンターでは、職員への定期的な研修会の開催をはじめ、新入職員には、トータル・ヘルスケアシステムにおいて、法人各施設や事業所が果たす役割を学ぶ教育プログラムを、設けていきたいと考えています。

患者さまとご家族を中心に、ペガサスグループが持つ医療資源、そして、介護サービス資源を、いかに最大化しご提供するか。さらには、地域の関連施設や事業所とより強固な信頼関係を築くか。センターは、地域の方々により良い医療・介護・福祉、さらには生活支援をも見つめ、充実したサービスのご提供に努めていきます。

お問い合わせ／TEL：072-265-5558
（担当 平岩）

健康セミナーを＜町の保健室＞に。

センターでは、地域への情報発信と健康ニーズの把握などを目的に、健康セミナーを行っています。第1回は介護予防をテーマに平成26年12月に開催し、地域の皆さまや、法人施設のご入居者・ご利用者など100名以上にご参加いただきました。セミナーでは、高齢者向けの体操や血圧測定などを実施。特に体操は評判がよく、参加者から「ぜひ続けてほしい」とのお言葉をいただきました。今後は、地域の皆さまが普段の健康の悩みを相談できる「町の保健室」をめざし、定期的に開催していきます。

TOPICS
1 馬場記念病院
登録医のための脳卒中セミナー地域医療の質の向上をめざし、
脳卒中の最先端治療をともに学ぶ。

60名の診療所の先生がご参加

馬場記念病院脳神経外科では、平成26年11月に「第1回登録医のための脳卒中セミナー」を開催。およそ60名の診療所の先生がご参加くださいました。

セミナーは、ペガサスの理事長・馬場武彦の挨拶ではじまり、副院長・脳神経外科部長の魏 秀復医師、脳神経外科副部長の宇野淳二医師が講演を行いました。

当院での実績をもとに講演

宇野医師のテーマは、「急性期脳主幹動脈閉塞に対する機械的血栓回収術」です。超急性期脳梗塞の治療や治療方針の変化、血管内治療と専門医の重要性などをお伝



えしました。続いて、魏医師は、「登録医に知っていてほしい脳卒中再診事情」をテーマに、脳卒中の病型分類、当科の脳血栓治療の内容と転帰、心原性脳梗塞の予防と治療、血管内治療の有効性などを取り上げました。

脳卒中は生命の危機に繋がる疾患です。その最先端治療には、24時間365日、専門医を中心とする医療チームと、必要条件を満たした施設設備の重要性を、登録医の先生にご理解いただきました。

※当院の脳梗塞の最新治療については、ペガサス情報誌「つばさ」で取り上げていきます。

TOPICS
2 社会福祉法人 風の馬
ペガサス訪問看護ステーション石津北
ペガサスケアプランセンター石津北
ペガサスデイサービスセンター石津北地域の皆さまに安心を届ける、地域の
ホットステーションに。

特別養護老人ホーム「アリオン」は、地域の皆さまの在宅支援強化のため、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、デイサービスの3事業所を併設しています。各事業所の管理者からのメッセージを紹介します。



○ペガサス訪問看護ステーション石津北／中野かおり

私を含めた4名の看護師と2名の理学療法士で業務を行っています。地域には、安心して在宅療養を行うための訪問看護を知らない方もいます。今後は、もっとサービス内容をご理解いただき、訪問看護を利用しやすい環境づくりに努めます。

TEL:072-245-3411

○ペガサスケアプランセンター石津北／松阪 恵

1名体制の事業所で、ご利用者がお家で安心して生活できるお手伝いをしています。具体的には、ご自宅でお過ごしの方にお話を伺ってニーズなどを把握。介護サービスなどの情報提供や、関係事業所との連携を図っています。今後は地域交流室などを使い、地域の誰もが、気軽に相談いただける場所にしていきたいです。TEL:072-245-9615

○ペガサスデイサービスセンター石津北／今西 崇

デイサービスを終日、月曜日から土曜日まで行っています。私が管理者と生活相談員を兼務し、他に看護師1名、介護職員4名の計6名で、サービスを提供しています。今後は、3事業所で連携を図りながら、ご利用者を支えたいと思っています。

TEL:072-245-9605

TOPICS
3 ペガサスデイサービス石津2号館無理なく笑顔で、体力と運動機能の維持・向上。
リハビリテーション強化型デイサービスです。

ペガサスグループでは現在、在宅療養に関連する事業所のリハビリテーションプログラムの見直しを図っています。これは、それぞれの事業所ごとに、サービス内容が重複するケースもある現状に対し、事業所の役割を明確にすることで、それぞれの持つ機能に特化したサービスの提供を図るための試みです。

その一環として、ペガサスデイサービスセンター石津北2号館では、体力や運動機能の維持・向上をより重視した新しいサービスの提供を始めています。専門知識を持つ経験豊富なスタッフが、ご利用者・ご家族それぞれの目標や希望に合わせて、無理なく取り組めるプログラムを個別に作成。例えば最近では、ゲーム機を使用して、重心バランスや運動機能を測定したり、ボウリングやテニスなどの競技をリモコンで手軽に楽しんだり。自然と笑顔になれるプログラムで、ご利用者の意欲を引き出しながら体力や運動機能を維持し、向上させるためのお手伝いをしています。

お問い合わせ／TEL:072-247-3333

